

## 高齢者に寄り添う疑似体験



Googleや重りを装着して高齢者の身体の不自由さを体験する男性

ボランティア活動や高齢者サポートの意識を広める「ボランティアまつり」（町社会福祉協議会主催）が9月28日、町民会館で開かれました。

日常生活を送る高齢者の不自由さを体験する福祉疑似体験コーナーでは、来場者が動きにくい装具を着けて階段を上ったり、文字を書いたりして、視力や筋力の衰えを体験。

また、ボランティア活動の内容を紹介する展示も来場者の関心を集めました。

## 行政相談委員の只石さん 総務大臣表彰



山路局長から総務大臣表彰の伝達を受ける只石さん

2009年から行政相談委員を務める只石佳一さんが、その長年にわたる功績が認められ、本年度の総務大臣表彰を受賞しました。道内の受賞者は6人。

行政相談委員は、国の業務に関する意見や要望などを受け付け、苦情の解決に向けた助言・通知を行う民間有識者です。

この日は、山路栄作・北海道管区行政評価局長が総務大臣表彰を伝達。只石さんの功績をたたえました。

## 交通安全啓発犬 第1号にポポ



交通安全の服を着て散歩する「ポポ」

町内1区の宇南山健次さんの愛犬「ポポ」（雄、13歳）が、深川警察署の「交通安全啓発犬」第1号に任命されました。ポポは、「交通安全」の文字が見える服を着て毎日の散歩に励み、啓発活動に取り組んでいます。

ポポは、ふわふわの白い毛並みが特徴のスπιッツ。秋の全国交通安全運動期間（9月21～30日）から啓発活動を始めました。

10月1日のセレモニーでは、ポポが妹背牛駐在所前を出発すると、近所の子どもたちが近寄ってくる場面も。宇南山さんは「子どもたちの興味をひくポポと一緒に、啓発活動を続けていきたいです」と、話しています。

## 認知症への理解 ポスターで周知



認知症への理解を広めるポスターを作る参加者たち

世界アルツハイマーデー（9月21日）にちなみ、認知症への理解を呼びかけるポスター作りの行事が9月18日、わかち愛もせうしひろばで開かれました。

本年度のスローガン「共に生き ともに歩もう 認知症」が添えられたポスターには、参加者たちが認知症になっても続けたいことを記載。「笑って過ごしたい」「居酒屋の生ビールが飲みたい」などと書き込み、完成したポスターを公共施設に掲示しました。

## 鈴井さんがペペルのPR動画に出演



鈴井さんが出演したPR動画の撮影風景



空知地域創生協議会の  
ユーチューブチャンネル

「そらち応援大使」のタレント・鈴井貴之さんが9月25日、妹背牛温泉「ペペル」の動画撮影のため、同町を訪れました。空知総合振興局と管内24市町で構成する北海道空知地域創生協議会が、各市町のPRを目的に制作している動画の一つ。鈴井さんは今年4月にリニューアルした温泉やサウナの魅力を伝え、最後に「サ飯」を堪能しました。撮影した動画は順次、同協議会のユーチューブチャンネルで公開されます。

## 新しい教育委員に辻さんを任命



田中一典町長から教育委員の辞令書を受け取る辻さん

町は10月1日付で、町内1区の辻五月さんを教育委員に任命しました。任期は4年間です。社会教育委員の経験を持つ辻さんは、学校の勉強のほか、地域と密接に関わる教育環境の充実も大切だと考えています。「未来ある子どもたちには、幅広い世代の方たちとのふれ合いから学べることも多くあります」とした上で「困っている人に自然と手を差し伸べられるような大人になってほしいです」と、話しています。

## 赤ちゃんとおふれ合い「いのちの授業」



赤ちゃんとおもちゃで遊ぶ生徒たち

妹背牛中学校の3年生を対象にした「いのちの授業」が、保健センターなどで行われました。生徒たちは、生後間もない赤ちゃんとのふれ合いを通じて命の大切さを学びました。授業は2日間にわたって行われ、10月1日には町内の親子5組の協力を得て、赤ちゃんとのふれ合い体験を実施。生徒たちはおもちゃで遊んだり、抱きかかえたりしながら、母親に「1日何時間ぐらい寝るんですか？」などと質問していました。

## 特産品の販促 オータムフェストで



新米を買い求める人たちの長い列ができる妹背牛町の販売ブース

町は、9月29日まで札幌・大通公園で開催されていた「2024さっぽろオータムフェスト」に4日間ブースを構え、特産品の販促活動を行いました。妹背牛の販売ブースは9月26日〜29日（第4期）に、道内の各自治体が集まる「さっぽろ大通ほっかいどう市場」（8丁目）に出店。妹背牛産米の量り売りには、新米を求める人たちの長い列ができたほか、ラムと豚のジンギスカン丼も好評でした。



## 小学3～5年生が稲刈り体験



天日干しにするため、刈り取った稲を運ぶ子どもたち

妹背牛小学校の3～5年生が9月13日、町内のふれあい農園を訪れ、稲刈りを体験しました。子どもたちは、農業技術指導員の佐藤悟さんから鎌で稲を刈るコツを教えてもらいながら、黄金色に実った稲を刈り取りました。

刈り取った稲を束ねた子どもたちは、昔ながらのはさがけにも挑戦。天日干しにした後、10月には脱穀の作業も体験し、農作業の大変さや食べ物の大切さを学びました。

## 町長が新米の出荷状況を視察



新米を手に出來秋を喜ぶ田中町長（左）と黒田組合長

田中一典町長や北いぶき農協の黒田洋一組合長らが9月24日、お米の出荷が始まったカントリーエレベーターを視察しました。

同農協妹背牛支所の担当職員からお米の出荷状況や作柄について説明を受けた、田中町長と黒田組合長の2人は、運び込まれたばかりの新米を手にした出来栄えを確認。ふるさと納税の返礼品としても好調な妹背牛産米の高い品質に、今年も期待を寄せました。

## 輝く青春 妹背牛中で学校祭



開会式でステージいっぱいには投影された、生徒たち手作りの映像作品

妹背牛中学校の学校祭が9月7日、同校体育館で開かれ、本番に向けて準備を進めてきた生徒たちが、日ごろの活動の成果を発表しました。

開会式では、生徒手作りの映像がプロジェクトションマップピングのようにステージいっぱいに投影され、保護者たちの視線を集めました。

このほか、ダンスや合唱などのステージ発表、美術作品の展示も訪れた人たちを楽しませました。

## 笑顔で楽しむ学習発表会



お化け役を演じた4年生。かわいらしい演技で来場者を楽しませました

「みんなで協力 笑顔で楽しむ」をテーマにした妹背牛小学校の学習発表会が10月12日、同校体育館で開かれました。子どもたちが練習を重ねた劇やダンスなどを披露し、訪れた保護者や地域住民を楽しませました。

4年生の劇「ヒュードロンおばけ学校」では、立派なお化けを目指す子どもたちがステージに登場。遊園地に訪れた人間を驚かせるため、奮闘する子どもたちのコミカルな演技に会場から大きな拍手が送られました。